【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2008-168461(P2008-168461A)
【公開日】平成20年7月24日(2008.7.24)
【年通号数】公開・登録公報2008-029
【出願番号】特願2007-1767(P2007-1767)
【国際特許分類】
Ｂ４２Ｆ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４２Ｆ　9/00　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月11日(2008.7.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
図１は、この発明の一実施の形態である綴じ具を示す斜視図であり、図２はこの綴じ具を閉じた状態を示す斜視図であり、図３は図１に示す綴じ具の操作部材固定部及びばね部材の近傍を表わした平面図解図であり、図４は図１に示す綴じ具のばね部材及びピンを示す平面図解図であり、図５は綴じ具を開いた状態を示す正面図解図であり、図６は綴じ具を閉じた状態を示す正面図解図であり、図７は図１に示す綴じ具の分解斜視図であり、図８は綴じ部材の図解図であり、（Ａ）は正面図解図であり、（Ｂ）は横断面図解図であり、図９は図１に示す綴じ具の綴じ部材及びばね部材の作動状態を示す図解図であり、図１０は図１に示す綴じ具の綴じ部材及びばね部材の作動状態を示す図で、（Ａ）は正断面図解図であり、（Ｂ）は一部分の側面図解図であり、図１１は図１に示す綴じ具で少ない書類を綴じたときの押圧部の状態を示す図解図であり、図１２は図１に示す綴じ具の綴じ部材及びばね部材の作動状態を示す図で、（Ａ）は正断面図解図であり、（Ｂ）は一部分の側面図解図であり、図１３は図１に示す綴じ具で多い書類を綴じたときの押圧部の状態を示す図解図である。
綴じ具２０は、板状の台部材と、前記台部材上において被綴じ物Ｘを押圧して保持する押圧部を有する綴じ部材７０と、前記台部材上において、被綴じ物Ｘを押圧するロック状態とロックを解除する状態とに移動可能にその固定部において台部材に固定された操作部材たる操作レバー６０と、前記台部材上に装着され、前記操作レバー６０に連結されるとともに綴じ部材７０に連結され、被綴じ物Ｘを押圧する方向に綴じ部材７０を付勢する付勢部材たるばね部材５０とを含む。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
【図１】この発明の一実施の形態である綴じ具を示す斜視図である。
【図２】この綴じ具を閉じた状態を示す斜視図である。
【図３】図１に示す綴じ具の操作部材固定部及びばね部材の近傍を表わした平面図解図である。

【図４】図１に示す綴じ具のばね部材及び軸を示す平面図解図である。
【図５】綴じ具を開いた状態を示す正面図解図である。
【図６】綴じ具を閉じた状態を示す正面図解図である。
【図７】図１に示す綴じ具の分解斜視図である。
【図８】綴じ部材の図解図であり、（Ａ）は正面図解図であり、（Ｂ）は横断面図解図である。
【図９】図１に示す綴じ具の綴じ部材及びばね部材の作動状態を示す図解図である。
【図１０】図１に示す綴じ具の綴じ部材及びばね部材の作動状態を示す図で、（Ａ）は正断面図解図であり、（Ｂ）は一部分の側面図解図である。
【図１１】図１に示す綴じ具で少ない書類を綴じたときの押圧部の状態を示す図解図である。
【図１２】図１に示す綴じ具の綴じ部材及びばね部材の作動状態を示す図で、（Ａ）は正断面図解図であり、（Ｂ）は一部分の側面図解図である。
【図１３】図１に示す綴じ具で多い書類を綴じたときの押圧部の状態を示す図解図である。
【図１４】図１に示す綴じ具の側面図解図であり、（Ａ）は書類を綴じていないときの側面図解図であり、（Ｂ）は書類を綴じはじめる状態を示す綴じ部材の押圧部の側面図解図である。
【図１５】図１に示す綴じ具の綴じ部材の変形例を示す図で、少ない書類を綴じたときの押圧部の状態を示す図解図である。
【図１６】図１５に示す綴じ具の綴じ部材によって多い書類を綴じたときの押圧部の状態を示す図解図である。
【図１７】図１に示す綴じ具の使用状態を示す斜視図解図である。
【図１８】従来の綴じ具の一例を示す平面図である。
【図１９】従来の綴じ具の一例を示す断面図解図である。